

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	建築史(4412)	
科目基礎情報							
科目番号	4Z42			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科環境都市・建築デザインコース			対象学年	4		
開設期	秋学期(3rd-Q)			週時間数	3rd-Q:4		
教科書/教材	教員配布資料						
担当教員	中村 琢巳						
到達目標							
・社寺および住宅を中心とした日本の古建築について、基本的な知識・用語を理解する。 ・社寺および住宅を中心とした日本の古建築について、それぞれの時代を代表する建築様式を理解する。 ・社寺および住宅を中心とした日本の古建築について、用途の変遷とそれに伴う建築的構成の変化を理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本建築の歴史に関して、基礎的な用語と知識を十分に習得できる			日本建築の歴史に関して、基礎的な用語と知識を習得できる		日本建築の歴史に関して、基礎的な用語と知識を習得できない。	
評価項目2	日本建築の歴史に関して、様式の変遷を十分に理解できる			日本建築の歴史に関して、様式の変遷を理解できる		日本建築の歴史に関して、様式の変遷を理解できない	
評価項目3	日本建築の様式の変遷に関して、社会的・文化的背景を十分に理解できる			日本建築の様式の変遷に関して、社会的・文化的背景を理解できる		日本建築の様式の変遷に関して、社会的・文化的背景を理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP3 ◎							
教育方法等							
概要	本講義では、現代建築のルーツの一つである日本の伝統的な建築について、その様式の変遷を通史的に学習する。ただし「日本の伝統的な建築」はきわめて多岐にわたるため、ここでは、①住宅建築の歴史、②神社建築の歴史、③寺院建築の歴史、以上の三点を概説的に解説する。また、それぞれの歴史を学ぶ際には、具体的な事例を通して理解を深めるのとともに、社会的・文化的・技術史的背景を学ぶことによって、なぜ当該の時期に当該の様式が成立することになったのかを教授する。						
授業の進め方・方法	・配布資料とスライドを中心とした講義形式を採る。 ・総合評価は学期末の到達度試験によって行い、100点満点中、60点以上を合格とする。また答案は採点后返却し、達成度を伝達する。						
注意点	・本講義の内容を深く理解するためにも、近隣に現存する日本の伝統的な建築を見学すること。 ・現代建築を見学した際には、どの部分に日本の伝統的な構造・意匠が用いられているのかを考えること。また、何故そのような構造・意匠が用いられたのか、自分なりの意見を考えるようにすること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス ～建築史の基礎知識～		身舎・庇、柱間など、日本建築史を学ぶ上での基本的な知識を身に付ける。		
		2週	住宅建築①		古代に成立した寝殿造の構成について、基本的な知識を身に付ける。		
		3週	住宅建築②		寝殿造から書院造への変化について、基本的な知識を身に付ける。		
		4週	住宅建築③		近世初頭の書院造について、基本的な知識を身に付ける。		
		5週	住宅建築④		近世に成立した草庵風茶室と数寄屋造について、基本的な知識を身に付ける。		
		6週	住宅建築⑤		中世末から近世にかけての庶民の住居について、基本的な知識を身に付ける。		
		7週	神社建築①		天武朝期における神社建築の成立について、基本的な知識を身に付ける。		
		8週	神社建築②		神明造・大社造・流造・春日造などの本殿形式について、基本的な知識を身に付ける。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	材料	建築材料の変遷や発展について説明できる。		3	
			計画・歴史	方法・制度の変遷について説明できる。		3	
				景観形成・風景計画、用途・形態規制の仕組みについて説明できる。		3	
				モジュールについて説明できる。		1	
				都市と農村の計画について説明できる。		3	
				原始(例えば、竪穴住居、高床建築、集落など)の特徴について説明できる。		3	
				古代(例えば、住宅建築、寝殿造、都市計画、神社建築、寺院建築など)の特徴について説明できる。		3	
				中世(例えば、住宅建築、神社建築、寺院建築(大仏様、禅宗様、折衷様など))の特徴について説明できる。		3	

				近世(例えば、住宅建築、書院造、数寄屋風書院、町屋、農家、茶室、霊廟、社寺建築、城郭)の特徴について説明できる。	3	
評価割合						
			試験	合計		
総合評価割合			100	100		
基礎的能力			50	50		
専門的能力			50	50		